

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2024年7月20日



株式会社 宮崎技建

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 組織図
5. 環境経営目標
6. 環境経営目標の実績とその評価
7. 環境経営計画及び取組結果とその評価
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果
10. 環境活動

1. 組織の概要

(1)事業所名及び代表者

株式会社 宮崎技建

代表取締役 宮崎 由野

取締役 社長 原 英雄

(2)所在地

本 社 高知県高知市本町三丁目6番23号

倉 庫 高知県高知市高須砂地2865-1

(3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 宮崎 由野

担 当 者 宮崎 由野

連 絡 先 TEL:088-823-3100 FAX:088-823-3183

E-mail : ymg@miyazakigiken.com

(4)事業内容

建設業

建設業許可 高知県知事許可（特・般-2）1638号 （許可年月日 2020年4月24日）

建設業の種類 建築工事業 大工工事業 とび・土工工事業 屋根工事業
タイル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業 内装仕上工事業
土木工事業 解体工事業

一級建築士事務所 知事登録260号

(5)事業の規模

敷地面積及び床面積

本社 敷地面積 : 270㎡ 延床面積 : 634㎡

倉庫 敷地面積 : 947㎡ 延床面積 : 291㎡

資 本 金 3,000万円

対 象 員 数 10人

事 業 年 7月1日～6月30日

完 工 高 430,605千円
(2023年度)

(6)対象範囲

全組織・全従業員・全活動を対象とする

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

◆対象範囲

本社、倉庫並びに直轄現場

◆対象期間

2023年度（2023年7月～2024年6月）

◆発行日

2024年7月20日

◆次回レポート発行予定

2025年8月末

3. 環境経営方針

《環境経営理念》

株式会社 宮崎技建は、環境保全に対する企業の社会的責任の大きさを認識するとともに、高い現場品質と社員一人一人の能力向上によって、地域社会から信頼される企業を目指しています。

事業活動を通して環境への負荷低減と社員が働きやすい環境の整備に取り組み、環境経営の継続的改善に努めることで、持続可能な社会の実現に貢献します。

《環境保全への行動指針》

1. 事業活動に伴う廃棄物削減及び再利用、再資源化に努めます。
 - 1) 一般廃棄物及び産業廃棄物の分別、適正処理をする
 - 2) コピー用紙使用量の削減、再利用を心がける
2. 事業活動に伴う資源の節約及びCO₂排出量の削減に努めます。
 - 1) アイドリングストップ等を心がける
 - 2) 電灯や冷暖房はこまめに消し、消費電力の削減を心がける
 - 3) 水を出したままの作業を極力抑え、使用量削減を心がける
3. 環境教育による意識の向上に努めます。
4. 法令を遵守します。
5. 環境に配慮した資材の購入に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。

制定日 2009年12月18日

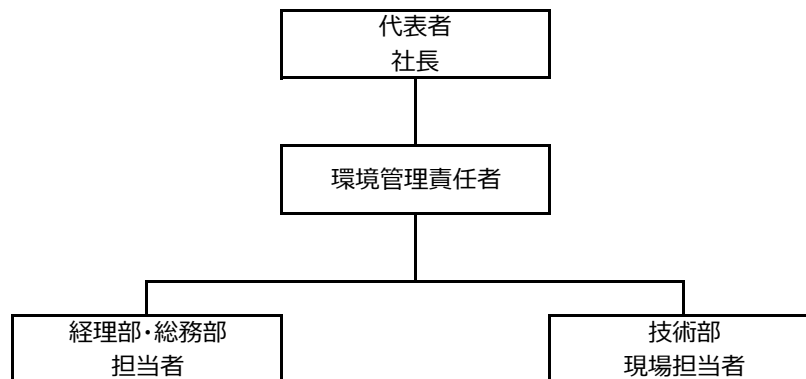
改訂日 2020年7月1日

株式会社 宮崎技建

取締役 社長 原 英雄

4. 組織図

株式会社 宮崎技建 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
経理部・総務部 担当者	・事務用品等グリーン購入の推進 ・化石燃料、電力、水資源投入量集計
技術部 各現場担当者	・建設資材のグリーン購入の推進 ・廃棄物分別の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

				基準値	中期目標				
				直近3年平均 (2018～ 2020年度)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
項 目		単位			基準値▲1%	基準値▲2%	基準値▲3%	基準値▲4%	基準値▲5%
CO2 排出量 の削減	電気使用量	本社	kwh	9,772	9,675	9,577	9,479	9,382	9,284
		現場	kwh	18,239	18,057	17,875	17,693	17,510	17,328
	ガソリン使用量	本社	L	2,523	2,498	2,473	2,447	2,422	2,397
		現場	L	520	515	510	505	500	494
	軽油使用量		L	402	398	394	390	386	382
	CO2総排出量		kg-CO2	25,761	25,504	25,247	24,989	24,731	24,474
廃棄物 排出量 の削減	一般廃棄物排出量の削減		kg	323	321	317	314	311	308
	産業廃棄物再資源化率		%	83	85	85	85	85	85
水使用量 の削減	本社		m ³	63	63	62	61	61	60
	現場		m ³	592	586	580	574	568	562
環境保全 への貢献	環境配慮工事の実施		件	全件	全件	全件	全件	全件	全件

- ・実績を把握しやすいよう、ガイドライン2017年度版の項目・単位と合わせる形に目標を修正しました
- ・電力の排出係数は0.528kg-CO2/kWhを使用しています
- ・産業廃棄物再資源化率については、2022年度以降は85%以上を維持することとします
- ・環境に配慮した工事については、チェックリストを用いて、実施内容を把握します
- ・化学物質使用量削減目標は、化学物質の使用がないため設定していません

6. 環境経営目標の実績とその評価

CO2排出量の削減

※ **赤字**は目標に届かなかったもの

項 目	単位	直近3年平均 (2018～ 2020年度)	2023年度 目標	2023年度 実績	削減率 (目標対比)
本社の電気使用量の削減	kwh	9,772	9,577	10,750	12%
現場の電気使用量の削減	kwh	18,239	17,875	4,082	▲77%
本社のガソリン使用量の削減	L	2,523	2,473	2,200	▲11%
現場のガソリン使用量の削減	L	520	510	380	▲25%
軽油使用量の削減	L	402	394	1,979	402%
CO2総排出量の削減	kg-CO2	25,761	25,247	18,934	▲25%

評価	(電気使用量の削減) ■ <u>本社</u> 達成できなかった 現場数が少なく、本社滞在人員数が多かったため、現場仮設電力が減った分、本社使用電力が増え、目標未達となりました。節電意識は定着しており、次年度も節電の取り組みを継続します。 ■ <u>現場</u> 達成できた 仮設電力を使用する現場が少なかったため、使用量は目標に対して大幅に少なくなりました。次年度も削減努力を続けます。
	(ガソリン使用量の削減) ■ <u>本社</u> 達成できた 次年度も継続します。 ■ <u>現場</u> 達成できた 次年度も継続します。
	(軽油使用量の削減) ■ <u>達成できなかった</u> 電気を使用できない現場があり、主に軽油を使用して発電機を稼働させたため、大幅な目標未達となりました。適切な燃料使用意識は定着しており、次年度も燃料使用量削減の取り組みを続けます。
	(CO2総排出量の削減) 目標は達成できました。次年度も継続します。

廃棄物排出量の削減

項 目	単位	直近3年平均 (2018～ 2020年度)	2023年度 目標	2023年度 実績	削減率 (目標対比)
一般廃棄物排出量の削減	kg	323	317	600	89%
産業廃棄物再資源化率	%	83	85	91.7	6.7ポイント
(参考) 産業廃棄物排出量	t	-	-	958	-

評価

■ 本社 達成できなかった
本社・倉庫の樹木の伐採により木くずが発生したため目標未達となりました。

■ 現場 達成できた
工事内容に左右される部分が大きいです、今後も廃棄物の分別による再資源化率向上に取り組みます。

水使用量の削減

項 目	単位	直近3年平均 (2018～ 2020年度)	2023年度 目標	2023年度 実績	削減率 (目標対比)
本社の水使用量の削減	m ³	63	62	49	▲21%
現場の水使用量の削減	m ³	592	580	167	▲71%

評価

■ 本社 達成できた
次年度も継続します。

■ 現場 達成できた
現場での節水意識は定着しています。工事内容に左右される部分も大きいです、次年度も節水努力を続けます。

環境配慮工事の実施

項 目	単位	直近3年平均 (2018～ 2020年度)	2023年度 目標	2023年度 実績	削減率 (目標対比)
チェックリストによる実施内容の把握	件	全件	全件	全件	

評価

■ 達成できた
全件で環境に配慮した工事を実施できました。

【チェックリストの項目】
騒音対策・振動対策 / 節水・節電 / 廃棄物の削減・管理

7. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

実 施 項 目	実施上の留意点	適用	達成 状況	評価・次年度の経営計画
電気使用量及び 二酸化炭素排出量の 削減	不必要な照明の消灯	全員	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	使用していないパソコン等の電源を切る	全員	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	冷暖房時の室温管理(冷房28度・暖房20度)	全員	◎	夏季に室温を下げすぎることがあったが良く出来ている。次年度も継続する。
	工法・資材の検討	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
燃料使用量及び 二酸化炭素排出量の 削減	燃費を確認しながら運転する	全員	○	燃費表示される車では確認の習慣が出来てきた。次年度も継続する。
	運転時、無駄な加速・減速をしない	全員	◎	概ねよく出来ている。 次年度も継続する。
	車に不要な荷物は積載しない	全員	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	作業を停止する時はエンジンを停止する	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	建設機械の点検	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	低炭素型建設機械の導入	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	車の冷房は冷やしすぎず適切に使用し、暖房のみ使用時はエアコンOffにする。	全員	○	夏季にできていない時があったが、おおむね出来ている。次年度も継続する。
廃棄物の削減	裏紙の利用	全員	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	資材発注時に使用数量をチェックし 残余建設資材の廃棄を抑制する	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	可能な現場では電子マニフェストを利用する	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
廃棄物の適正処理	マニフェストによる適正処理を行う	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
水使用量の削減	手洗い等水使用時には節水を心がける	全員	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
	建設機械の洗車や、機材等の洗浄時は あらかじめ泥等を落としてから洗う	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
環境に配慮した工事の 把握	チェックリストにより実施内容を把握する	現場	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。
環境教育	専門誌購読による勉強	全員	◎	良く出来ている。 次年度も継続する。

達成状況 : ◎よくできた ○おおむねできた △あまりできなかった ×全くできなかった

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

主な環境関連法規制の遵守状況

日付 2024/7/20

法令等の名称	適用される要求事項	状況
○廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	許可業者に委託（一廃は許可証の確認） 許可業者に委託（産廃は契約） マニフェスト発行・返送遅延時の届出 マニフェスト交付状況の報告 収集・運搬業者に委託	遵守
○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	事業者の責務 (建設資材廃棄物の抑制、再資源化による資材の利用) 分別解体の実施	遵守
○建築基準法	石綿含有建材使用の禁止 内装仕上材、換気設備の適正使用	遵守
○大気汚染防止法	事前調査(特定建築材料の使用有無)、作業実施の届出 調査結果・届出内容の発注者への説明及び掲示 特定粉じん排出等作業の記録の作成・保存	遵守
○フロン排出抑制法	簡易点検の実施 (圧縮電動機出力7.5kw未満の第1種特定製品)	遵守
○騒音規制法	特定建設作業の実施の届出	遵守
○振動規制法	特定建設作業の実施の届出	遵守
○グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める	遵守

過去、環境関連法規等の違反・関係当局からの指摘・訴訟等はありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し

実施日 2024/7/20

2023年度は昨年同様に電気が使用できない特殊な現場があり、発電機を稼働させたため軽油使用量が目標を大きく上回りました。

また、現場数の関係で仮設電力の使用が少なくなる一方で、本社での電気使用量が目標未達となりました。

このようなコントロールの難しい要因による各項目での増減はあったものの、CO2総排出量の削減目標は達成できており、環境負荷低減のための意識・行動が全体として結果に表れていると思います。

そして、今年度は複合機の入れ替えの必要が生じ、再生品を使用して生産された機器を新たに導入しました。

日々の業務においてエネルギー使用量を大きく削減することは難しくなってきていますが、数字では見えない部分で環境負荷低減に貢献できたと考えています。

今後も、環境への影響を減らす工夫はないか意識して日々の業務を行ってまいります。

- ◆環境経営方針 ☒変更なし
- ◆環境経営目標・計画 ☒変更なし
- ◆実施体制 ☒変更なし

10. 環境活動

エコ活動



使用機械

現場で使用する機械は低騒音・低振動の重機を使用しています。



ボランティア活動

地域の皆さんとともに清掃活動に参加しました。

- ・あったか高知。秋のおもてなし一斉清掃
- ・2024年南国土佐観光びらき清掃
- ・初夏のまちを美しくする運動

社会活動

ワクチンの寄付やリサイクル活動に役立てていただくために、ペットボトルのキャップ、プルタブの収集を続けています。

